

8 学力向上推進事業

昭和 59 年度から「魅力ある高校づくり推進事業」を、引き続いて昭和 63 年度から「特色ある高校づくり推進事業」を実施するなど、全人教育を基盤に据えながら、生徒の多様化に対応する教育を進め、平成 2 年度からは、新たに「学力向上推進事業」を実施している。この事業は、「学力向上企画推進委員会による施策の立案・推進」と「高等学校の実践」を 2 本の柱としている。

(1) 学力向上企画推進委員会

本委員会は、中・長期的展望に立って、学力向上のための具体的施策等を企画立案し、小・中・高等学校での実践に資することにした。

ア 委員会の構成

教育次長、教育総務課長、義務教育課長、高校教育課長、特別支援教育課長、教学指導課長、教学指導課義務教育指導係長、同高校教育指導係長、総合教育センター教科教育部長及び指導主事で構成される。

イ 主な業務内容

- ・小・中学校における実践の指導助言
- ・調査研究委員会への指導助言
- ・学力実態調査の実施

(2) 小・中学校の実践内容

小学校国語主任研究協議会

国語科の指導改善に向けて教材研究のあり方について協議し、各校での実践に資した。

(3) 高等学校の実践内容

各学校の実態に即した学力向上のための実践が行われ、基礎学力の定着と伸びる力の伸長を図った。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| ・教育課程の見直し | ・進学対策集中講座 | ・指導法の研究実践 |
| ・学習合宿の実施 | ・学習ソフト活用 | ・進路情報の活用 |

(4) 学力実態調査

小学校 5 年及び中学校 2 年で調査を実施。学習意識調査と合わせ指導改善に資した。

(5) 進路指導等研究協議会の実施

- | | | | | |
|-------|----------|----------|-----|------------|
| 5月25日 | 総合教育センター | 参加者 97人 | 対象者 | 高等学校進路指導主事 |
| 7月20日 | 総合教育センター | 参加者 190人 | 対象者 | 中学校進路指導主事 |